

Coastline

松山港湾・空港整備事務所 リーフレット

2013 年 3 月号

No.21



えひめ

Contents

- ・第 2 回 瀬戸内みなとオアシス連絡会議 開催
- ・塩崎衆議院議員が松山港外港地区を視察
- ・平成 24 年度 補正予算が成立
- ・第 1 回 今治港ビジョン・デザイン検討委員会 開催
- ・「八幡浜みなと」リニューアルオープン

表紙写真：松山港外港地区【2013 年 3 月 6 日撮影】

第2回 瀬戸内みなとオアシス連絡会議 開催

●瀬戸内の賑わい創出を目指して

2月16日、広島港宇品旅客ターミナルにおいて瀬戸内みなとオアシス連絡会議が開催されました。

この会議は、瀬戸内海が持つ魅力を最大限に活用し、観光による集客やみなとまちづくりに役立てるため瀬戸内海沿岸地域のみなとオアシスを中心に、みなとオアシス KOBE の呼びかけにより昨年11月に発足し、今回で2回目の開催となります。

また、会議に先立ち、みなとオアシス広島の中核拠点である「宇品デポルトピア」の視察も行われました。



▲会議の様子①



▲会議の様子②



▲宇品デポルトピア



▲宇品波止場公園「パラダイスの塔」

●13港のみなとオアシスが出席！

会議には、みなとオアシス伯方、八幡浜港みなとオアシスを含む13港が出席しました。

事務局より同会議の目的を達成するための運営目標やみなとを活かした具体的な活性化策・連携策について提案があり、出席者による活発な議論がなされました。

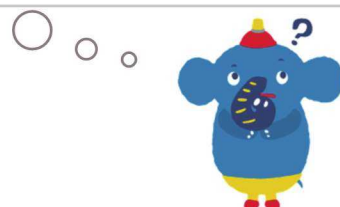
今回、会議としての具体的な活動内容について意思統一が図られたことから、今後はその達成に向けた各みなとオアシスの取組が期待されます。

みなとオアシスってなんだろう？

国土交通省は、人々の賑わいや交流をつくりだすみなとの施設を「みなとオアシス」として認定・登録し、国がその広報活動を支援する「みなとオアシス」制度を全国に展開しており、みなとを核とした地域の活性化を促進しています。

○登録港・・・68港

○仮登録港・・・7港 (H25.1.20 現在)



塩崎衆議院議員が松山港外港地区を視察

●松山港整備事業について説明

2月23日、塩崎恭久議員が松山港外港地区国際物流ターミナル整備事業を視察されました。

まず、コンテナヤードの造成地の埋立工事現場、岸壁工事現場、それから現在供用中のコンテナターミナルについて視察されました。

現地ではコンテナターミナルの利用状況やコンテナの積み下ろしに使用する荷役機械（ガントリークレーン）について職員から説明がされました。

その後、事務所所属の港湾業務艇で実際の貨物船と同じ航路を辿りながらターミナル部の視察を海上から行いました。

船上では、松山港は港内の潮流が早いため、海上事故を防ぐには防波堤の延伸が不可欠であることの説明がされました。

また、事務所に係船中の海面清掃兼油回収船「いしづち」にも乗船、油回収およびゴミ回収事業についても視察されました。



▲埋立工事現場の視察



▲コンテナターミナルの視察



▲「いしづち」船内の視察

平成 24 年度 補正予算が成立



2月26日、平成24年度補正予算が成立しました。

国土交通省関係では「日本経済再生に向けた緊急経済対策」(平成25年1月11日閣議決定)に基づき、「復興・防災対策」、「成長による富の創出」及び「暮らしの安心・地域活性化」の3分野に重点化した所要の経費及び公共事業の契約の前倒しとしての国庫債務負担行為（ゼロ国債※）が計上されています。

当事務所への配分額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

港名	地区名	事業費	内 容
松山港	外港地区	単年度 180 ゼロ国 500 合 計 680	国際物流ターミナルの整備 ※取扱貨物の増大や利用船舶の大型化に対応するため、外港地区の浚渫（水深13m）を実施
四国西南航路	奥南地区 細木地区 船越地区	単年度 18 ゼロ国 — 合 計 18	護岸等の健全度調査、設計 ※東南海・南海地震に備えて老朽化している施設の健全度評価等の実施
松山空港	—	単年度 210 ゼロ国 — 合 計 210	経年劣化に対応した舗装改良、耐震対策 ※誘導路の改良工事、滑走路部の大規模地震発生時に備えた液状化対策

※ゼロ国債
債務負担が次年度以降にわたるもので、当該年度中の国費の支出がゼロの国庫債務負担行為のことです。

第 1 回 今治港ビジョン・デザイン検討委員会 開催

●バリエさんの生まれた今治市に賑わいを！

2月28日、今治港の再興および成長の視点に立った総合的港湾空間の形成を図るため、今治港の諸要請ならびに今後の果たすべき役割などを検討し、ビジョン・デザインの策定に関して、提言および助言を行うことを目的として検討委員会が開催されました。

委員会は、地元の港湾関係者や大学教授、経済関係者など産官学民それぞれの分野からの29人で構成されています。

●来春を目標に提言を行います

会場では「今治らしい独自性によって全国の港に負けないようにしたい」「海運業振興に向けた特区づくりは出来ないだろうか」などの意見の他に「防災対策についても重要である」などの提案もされました。

今回の議論を踏まえて、次回は今治港が今後担うべき役割や「今治港ビジョン・デザインの検討」を行うために「内港まちづくり」「内外物流」「防災対策」の3部会を立ち上げて更なる議論を重ねることとなりました。



▲富田地区の視察



▲葭敷地区の視察



▲委員会の様子

「八幡浜みなと」リニューアルオープン

～ 八幡浜港が「賑わい」と「憩い」の空間に生まれ変わります ～

八幡浜港の再開発事業によって「八幡浜港みなとオアシス」が「八幡浜みなと」としてリニューアルオープンします。

「八幡浜市景観計画」に基づいた自然との調和や地域の歴史、文化に配慮された、どこか「なつかしさ」や「温かみ」を感じる施設を目指して現在グランドオープンに向けて建設中です。



▲みなと交流館



▲トイレ棟「段々 MOKUKASA (木傘)」

施設の概要



▲完成イメージ図 (4月12日にオープンの予定です)

- ・どーや市場 (海産物直売所)
魚屋さんがズラリと出店されます
- ・アゴラマルシェ (産直・物販等)
実演販売や料理教室も実施されます
- ・みなと交流館 (観光案内等)
まちづくり活動の拠点施設となります
- ・緑地公園
「かまぼこカーテン」を是非見て下さい
使用した「かまぼこ板」はなんと 25,000 枚！
日本大学大学院の作品です
- ・トイレ棟
段々畑をモチーフにした木仕上の屋根、
中央の中庭など特徴のあるトイレです
一般公募 285 点から選定されました

お便りお待ちしております！

本誌に関すること、みなとや海岸に関する「取り組み」「イベント情報」「ご意見・ご質問」など、お気軽にご相談ください。

※お問い合わせは右記まで



国土交通省 四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所
〒791-8058 松山市海岸通 2426-1
TEL(089)951-0161 FAX(089)946-8010
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/>